

## 生涯学習



やまざき さちこ  
 山崎 幸子  
 議員

が続くようなら、受入先の問題も含め、検討していきたいと思う。

## 介護予防事業

**質問** 介護支援ボランティア

ポイント制度とは、65歳以上の高齢者がボランティアをすることによりポイントを取得し、そのポイントを現金に交換するという仕組みのものであり、ボランティアに興味のない人でもポイントがもらえるならやってみようかな、というきっかけとなり、そのことにより生活にも張りが出



**質問** 美浦大学の応募者が年々増え、今年度は60名定員のところ100名の応募があった。平成27年3月に、文化講座で開講しなかった分の107万円が減額補正されている。それならば、高齢者が家に閉じこもらずに外に出ることに、介護になる可能性を減らすという観点から、高齢者向け講座の募集枠をもっと広げ、もっと多くの高齢者が講座に参加できるようにすることはできないか。

**答弁** (村長) 今後の動向をみて、応募者が多くなること



て、病気になるリスクも減る。結果的には、本村の医療費削減にもつながってくる。高齢者ボランティアポイント制度に対しての見解は。

**答弁** (保健福祉部長) 元

気な高齢者が社会参加や貢献活動を通し、生きがいを持って健康寿命を延ばすための手段として大変有効であると考えられる。ポイント制度については、活動する喜びに加え、ポイントを還元することでさらなる喜びが味わえ、生きがいづくり対策として、検討に値するものであると認識する。

**質問** ボランティアポイント

制度導入の費用は、土浦市・取手市では国・県の地域支援事業交付金を使い、6割以上

を交付金で賄っているのとこと。交付金を使えば自治体の負担も少なく済むので、本村でも制度導入を検討したらどうか。

**答弁** (保健福祉部長) 近

年、高齢者福祉対策の手段として、活用する自治体が増えてきている。費用面は、地域支援事業費の活用ができることから運用は可能である。また、ボランティアの範囲も介護のみならず、世代間を超えた活動や生涯学習との連携など、選択肢を広げたものを検討していきたい。

